

【別 紙】

一般社団法人日本作業療法士協会 「次期システム開発業務」の概要

1. はじめに

一般社団法人日本作業療法士協会（以下、本会）は、リハビリテーション医療の国家資格である作業療法士の職能団体（全国組織）であり、現在約 6 万人の会員を擁しています。本会の事務局では、会員の入退会、会費徴収、会員の基本情報と各種付帯情報等を管理しており、それとリンクさせながら会員向けサービスである生涯教育制度の運用（研修会の運営、受講管理、資格付与等）を行っています。システム面で言えば、これまでも業務ごとにシステムを構築し、改善や機能追加を繰り返してきましたが、老朽化し継ぎ接ぎだらけになっている現行システムでは、各種業務を連携させながら迅速に情報処理を行うことが困難になってきました。そこで、システム全体を刷新・統合して Web 化し、事務局サイトでは事務局業務が円滑に遂行できること、会員ポータルサイトでは会員の利便性を向上させることを目的に、会員 10 万人時代にも耐えうる次期システムの開発に着手した次第です。

2. 現在の状況

次期システム開発プロジェクトは、2014 年に最初の問題提起がなされ、2016 年度から開発に着手し、途中で要件定義の見直しを行うなどの紆余曲折を経ながらも、1 次開発、1.5 次開発と進められてきました。そして本プロジェクトを完成させるはずの 2 次開発は、当初 2020 年 4 月に公開予定でしたが、会員ポータルサイトを中心とした一部機能が 6 月に公開されたのみで、事務局サイトの開発は間に合わず、業務が中断したまま現在に至っています。現在は Access を利用した事務局のローカルシステムと 1 次、1.5 次で開発したシステム、2 次で開発した Web システムが同時並行で稼働している状況であり、連携ツールを活用した運用を行って業務を継続しています。次期システム開発の最終形としては、事務局のローカルシステムや 1 次、1.5 次システムを 2 次の Web システムに統合し、データの一元化と業務のスリム化を目指します。

3. システム環境及び業務

◆環境（クラウド）

言語：Java

データベース：PostgreSQL

フレームワーク：Spring

OS：CentOS Ver.7

※環境については、新規にご提案いただくことも可能です。

◆主な業務

- ・会員管理
- ・財務管理
- ・生涯教育管理 ※協会特有機能
- ・施設・養成校管理
- ・研修会管理

- ・お知らせ管理
- ・統計処理
- ・DM 送り状管理
- ・申請進捗管理
- ・外部団体管理
- ・ライブラリ管理
- ・共通機能（ログ管理、メール自動発信、簡易検索出力など）
- ・各種バッチ

4. 今回開発後に構築を予定しているシステム

- ・都道府県士会システム
- ・事例報告登録システム

5. 選考までのスケジュール

提案依頼書発出から提案各社への選定結果通知までのスケジュールは以下の通りです。

- 4月5日～4月18日 次期システム開発業務 公募期間
- 4月20日 応募いただいた各社への説明会開催
(現状の説明や目的、詳しい説明資料を提示いたします)
- 5月11日 提案書類等の提出期限
- 5月14日～18日 プロポーザルの実施 (提案プレゼンテーション)
- 5月22日 本会理事会にて決定
- 5月24～ 結果の通知

6. 本会の概要

- 法人名 : 一般社団法人 日本作業療法士協会
 所在地 : 〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル 7 階
 設立 : 1966 年 (昭和 41 年) 9 月 25 日
 社員数 : 249 名
 会員数 : 正会員 63,410 名 (有資格者数推計 99,788 名) ※2021/2/1 現在
 名誉会員 17 名
 賛助会員 法人会員 67 法人、個人会員 5 名
 諸事業 : (1) 作業療法の学術の発展に関する事業
 (2) 作業療法士の技能の向上に関する事業
 (3) 作業療法の有効活用の促進に関する事業
 (4) 作業療法の普及と振興に関する事業
 (5) 内外関係団体との提携交流に関する事業
 (6) 大規模災害等により被害を受けた人の自立生活回復に向けた支援を目的とする事業
 (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事

以上